

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 62  
夏号  
令和元年  
(2019年)

# 環境ひらかた



## 令和元年度通常総会を開催



去る6月8日に、令和元年度の総会をサブリ村野「環境保全研修室」で開催しました。総会は正会員の半数以上の出席により成立するという規定の下、正会員95名のうち出席者59名(委任状・議決権行使書含む)で、定足数を満たし成立していることを確認し、議長に鍛冶谷氏が選任され始めました。そして上程された5つの議案は審議され、すべてが原案通り可決承認されました。

そのあと、今年は団体設立15周年という記念の年であることから、4つの各部会とプロジェクトチームから、15年の活動を振り返っての活動報告や感想などの発表がありました。会場の37名の参加者にとって初めて聞く話や、活動への思いなどを知ってもらう機会となりました。



すっかり恒例となった総会後の懇親会は、日頃あまり交流の無い会員同士、テーブルを囲んで様々な話題で意見交流が行われ、大いに盛り上がりました。また今回は

*****目次*****	
令和元年度通常総会を開催	P 1
ひらかたみんなでエコ宣言結果報告	P 2
環境ミニ講環境ティールーム(前期)	P 3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 26	P 7
環境ミニ知識	P 8



# ひらかた みんなでECO宣言 結果報告



## あなたも「エコ宣言」されましたか？

昨年、新規事業としてこの「ひらかたみんなで ECO 宣言」がスタートしました。この取り組みは環境省が推進する「COOL CHOICE(賢い選択)」に賛同するもので、省エネだけでなく、生活全体を視野に入れ、環境に関わる様々な事柄に意識を向け、環境に配慮した賢い選択をしてもらうきっかけとなることを目的に実施しました。

「エコ宣言」シートは、枚方市内の希望する学校園に配布すると共に、市内の各所に設置配布し、7月から12月の間で、1週間の行動をチェック、あまりできていない項目から今年頑張ろうという項目を選んで「エコ宣言」してもらいました。参加者は、1258人！この取り組みで削減できたCO<sub>2</sub>の量は約93tとなりました。

また枚方市では、夏休みの自由課題として、枚方市内の希望する小学校に「エコライフつうしんぼ」が配布されました。結果、市内小学校19校2101人の児童の参加があり、エコライフ宣言の達成率は平均70%。CO<sub>2</sub>の削減量は約4t。取り組んだ感想もたくさん寄せられました。

これら2つの取り組みのまとめ報告書ができました。報告書は市内公共施設等にも設置・配布しています。エコ宣言の実践アイデアも記載されていますのでぜひご覧ください。



**今年もECO宣言を通して  
地球温暖化防止に取り組みましょう！**

# 環境ミニ講座(前期)始まっています!

【場所】 サプリ村野南館 2階 環境情報コーナー

人気をいただいている「環境ミニ講座」の前期講座が始まっています。

「環境問題」と真正面から向き合うには敷居が高い。そんな方も多いのではないのでしょうか？  
身近なところに環境を考える・意識させられることはいっぱいあります。

「環境ミニ講座」で、ちょっとだけ環境問題に触れてみませんか？

**7月29日(木)** 13:30~15:30

夏休み特別企画

「手作り乾電池」

身近な材料を使って電気を作ってみよう!

**8月22日(木)** 13:30~15:00

「ヨシ笛作り&川の生き物観察」

天の川でヨシ笛作り!  
箱メガネで川の中をのぞいてみよう

**9月26日(木)** 13:30~15:00

「レンジで簡単!お団子づくり」 参加費 100円

省エネ&国産材料でエコクッキング

## 環境ティールーム 気軽に参加しませんか!

【場所】 サプリ村野南館 2階 環境情報コーナー 【参加費】 無料

環境ティールームでは、参加者みんなでテーブルを囲み身近な環境についておしゃべりします。毎月テーマを一つ決めて、私たちに何ができるのか、どう関わっていけばいいかなど、一緒に考え、お茶を飲みながら、気軽にお話しませんか。

第2回 「クールスポットについて考えてみましょう」

**7月11日(木)** 10:30~12:00

枚方市内のクールスポットがどこか知っていますか?

家庭で簡単にできる生ごみ堆肥作りを一緒に考えましょう!

第3回 「家庭で簡単!生ごみ堆肥」

**9月12日(木)** 10:30~12:00



# 部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

## 環境教育部会

### “くらわんか塾”でご一緒に！

当部会が取り組んでいるメイン事業は2つあります。一つは皆さん良くご存知かと思いますが「環境出前授業」です。もう一つ、それは「くらわんか塾」です。このくらわんか塾は、環境出前授業を“実践”する“戦力”となっていただく為の講座です。

現在の環境教育部会のメンバーの多くが「くらわんか塾」の卒業生で、それぞれの得意な分野でそれぞれが力を発揮し、「環境出前授業」の新規メニューの開発やレベルアップに貢献しています。しかしながら、学校園への環境学習活動をさらに拡大、発展させて行くにはまだまだマンパワーが不足しています。少しでも関心をお持ちの方は一度「くらわんか塾」を受講してみてください。そして一緒に児童生徒への「環境出前授業」を通じての「環境啓発活動」を実践して行きましょう。

ちなみに、もう一つのメイン事業である「環境出前授業」は、今年度5月から6月にかけて6回実施することができました。学校では、これからプールが始まり、夏休み、夏休みが明けると運動会など各種行事が目白押しで、例年、「環境出前授業」もしばらくの間休憩の時期に入ります。そこで、毎年この端境期を上手く利用して、もう一つの大きな事業「くらわんか塾」を開催しているのです。

## 自然エネルギー部会

### “けやき通りde夏まつり”に出展

#### ～ピコ水力発電のデモンストレーションで自然エネルギーをPR～

枚方八景の一つである「香里団地の並木」として紹介されているけやき通りで7月28日と8月25日の両日“けやき通り de 夏まつり”が開催されます。時間はいずれも17時から21時ですが、当部会も出店できることになりました。

今回の出展は、部会の大きな事業の一つである「こもれば水路プロジェクト」の関係で、祭りの担当者と相談させていただく機会があり、その折に、今回の祭りへの出展のお話しをいただいたことから実現したものです。当日は昨年度購入した

「螺旋式ピコ水力発電装置」を運び込み、装置で発電した電気でイルミネーションを点灯させて、ピコ水力の能力を知ってもらえたらと思っています。併せて、再生可能エネルギーについての啓発チラシによるPRも行います。また環境教育部会の方々協力で「手回し発電」によるエネルギー体験を、祭りに来た子どもたちにしてもらえるよう、準備をしています。

尚、「こもれば水路プロジェクト」にリコージャパン様から嬉しいニュースが届きました。(お知らせページに関連記事記載)





## まちづくり部会

### こんなところにあんなものが！ 枚方発見ウォーク



さわやかな新緑の季節の5月18日、まちづくり部会では「街並み保存の推進」の一環として恒例となっているウォーキングを行いました。

今回は「万年寺山周道を歩こう」と題して、枚方市駅を出発し、新しく命名されたニッペパーク岡東中央（以前の岡東中央公園）、一乗寺、御茶屋御殿跡、意賀美神社を経て田中家鋳物工場跡や枚方田中邸のむくの木等を巡る万年寺山周道の約3kmを、ボランティアガイドの案内のもとスタッフを含む19人で歩きました。

日頃から利用する枚方市駅の周辺エリアですが、有名人ゆかりの地や、伝説として語り継がれている場所もあり、ガイドの説明に熱心に耳を傾けていました。アンケートでは「よく行く地域の近くだが、行ったことのない場所ばかりだった」、「ガイドの説明が勉強になり、



枚方を再発見した思いだ」「坂道が多いコースだったが、距離も時間もちょうどよく感じた」など好評をいただきました。

今後も市民の皆さんと一緒に街の隅々まで歩き回ることで、枚方のよいところや改善すべきところを知る機会にさせていただけたらと思っています。

## 公共交通部会

### JCOMMマネジメント賞候補にエントリー

今年の会報誌冬号で、部会が作製し、枚方市が転入者向けに配布している「ひらかた交通タウンマップ」が高い評価を得ていると報告しました。その高い評価を得ている、交通タウンマップ作成事業を含む当部会の『モビリティマネジメント事業』をJCOMMマネジメント賞候補にエントリーしました。結果は残念ながら受賞とはなりませんが、審査員からは、次のような評価をいただきました。

- ・NPO 主導による市民を巻き込むための継続的な活動は評価できる
- ・NPO と連携して14年間もの間、多岐にわたるMMの取り組みを継続・拡充しながら続けていることは高く評価できる
- ・転入者MMやスタンプラリー、写真公募、バス旅コース公募などのイベントを通じたMMを継続的に実施している点が高く評価できる
- ・10年以上にわたるイベントの継続実施や、多様なツールの開発は評価できる。

以上のような高い評価をいただいたのですが、一方で「公共交通利用者の増加など定量的効果が出ているとなおよい」という指摘もありました。環境の取り組みも、この「効果を数字で測りきれない」ところに難しさがあると痛感させられました。

※JCOMM：(一社)日本モビリティ・マネジメント会議の略

※MM：モビリティ・マネジメントの略。多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域の移動状況が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取り組みのこと。



## ＊＊6月3日「子ども用品リユースコーナー」が誕生しました！＊＊

お待たせしました！ 環境情報コーナーの一角にリユースコーナーが誕生しました。一昨年実施した「ごみ減量アイデアコンテスト」の取り組みの中で「常設のフリマのようなどころがあればいいのに」という声に応え、1年余り話し合いを重ね、検討し、やっとオープンすることができました。但し、取扱品は「子供用品」限定です。少しがっかりされる方もおられるかもしれませんが、“ごみ減量”の一助になればと願っています。一度覗いてみてください。



ごみ減量の4Rを実行しましょう！



**REFUSE** (リフューズ=断る)・**REDUCE** (リデュース=減らす)

**REUSE** (リユース=繰り返し使う)・**RECYCLE** (リサイクル=再資源化)

## ◆◆ リコージャパンから寄付をいただきました ◆◆

自然エネルギー部会では「ハイブリッド型発電機」を備えた再生エネルギー推進啓発モニメントの設置に取り組んでいることはご存知でしょうか。前号の会報誌(61号)にも書きましたが、この取り組みの実現には、クリアしなければいけない課題がいろいろとあります。その中の大きな課題の一つが費用の問題です。

この度、その費用の問題の解決に繋がる明るいニュースが届きました。リコージャパン様から30万円の寄付がいただけることになりました。まだまだ前途は多難ですが、リコージャパン様の期待に応えるためにも頑張っていかなければと思っています。

## ☆☆ プルタブの回収支援を終了しました ☆☆

長年プルタブの回収中間拠点として支援を行ってきました。このほど目標としていた重量の回収を達成することができたことは前号の会報誌でお知らせした通りです。今後については、プルタブの当初の回収理由そのものが解消されたことと、目標量達成という区切りもついたことから、回収中間拠点としての役割を終えることとしました。

ご協力をいただきました皆様に感謝いたします。

尚、エコキャップの回収については、当面継続していきます。

ただ、“エコキャップ回収と回収支援”の意味と意義をもう少し多くの方に知って頂ければと思っています。



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「主要 20 カ国・地域 (G20) 環境閣僚会合」ともう一つは以前取り上げた「食品ロス」の問題です。

### ◆主要 20 カ国・地域 (G20) 環境閣僚会合の成果は?

6 月 28、29 日に、日本が初めて議長国を務めることとなった G20 大阪サミットが開催されます。(この記事は 6 月 18 日に書いています)大阪サミットに先駆け、全国各地で 8 個の各種閣僚会合が開催されました。

その一つ「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する環境閣僚会合」が 6 月 15、16 日の 2 日間にわたって、長野県軽井沢町で開かれました。そこでの主な課題は・・・

- ① 技術革新などによる「環境と成長の好循環」の実現
- ② 海洋プラスチックごみ対策の枠組みづくり
- ③ 地球温暖化対策
- ④ 水素エネルギーの利用拡大に向けた協力体制づくり
- ⑤ 二酸化炭素を回収・再利用する「カーボンリサイクル」の重要性を確認
- ⑥ 原発の廃炉や使用済み核燃料の最終処分での協力体制づくり

以上の 6 つでした。

会合結果については、既に新聞報道などで目にされた方も多いと思いますが、発表された共同声明では「海洋プラスチックごみ対策実施枠組み」の創設での合意はありましたが、他何ら目新しことはみられませんでした。

### ◆食品ロス減にちかづけるか!?

6 月 5 日の日刊紙に、大手コンビニ 2 社が食品ロスの削減に向けて、消費期限の迫った弁当類の実質的な値引き販売の取り組みを始めたとのニュースが記載されていました。

しかしこの取り組みには「食品ロス削減に効果があるかどうか」というところで評価が分かれています。効果が期待できるとの評価では、対象品の食品ロスは 7 割ほど減ると試算されています。一方、期待できないとみる向きには、スーパーなどでは“50%値引き”といったことが行われているところもあり、5%OFF では効果は期待できないというのです。

そもそもコンビニは「品切れによって売る機会を失うことが許されない“捨てる前提”の商売」という声があるほど、捨てることが当たり前となってしまっています。今回の取り組みが、食品ロス削減への足掛かりになればと思う一方で、利用者である私達消費者の意識改革もしていかなければならないという思いを強くしています。今問題になっている悪質クレーマーによる「カスタマーハラスメント」がいることも品切れが許されない状況にしている一つかもしれません。いずれにしても、食料品の 4 分の 1 強が「食品ロス」として無駄になっていることを私たちは忘れずにいたいものです。

# 環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



暑い夏を“体の内から外から涼しくする”！

## 身体を冷やす食べ物って？！

暑くなると「身体の中から冷やす食べ物を取りましょう」と言われるのを聞きます。身体を冷やす食べ物には次のようなものが挙げられます。

**野菜類**…きゅうり、トマト、ナス、白うり、レタス、キャベツ、ほうれん草

**果物**…キウイ、スイカ、レモン、梨、りんご、柿、バナナ、オレンジ

**穀類**…小麦、はと麦、そば

**魚介類**…たこ、カニ、あさり、しじみ、鰻

**海藻類**…わかめ、昆布、のり

**豆類**…もやし、豆腐、ひえ

**いも類**…こんにゃく **調味料**…白砂糖、酢

## — 外断熱と内断熱 —

断熱効果の高いのはと聞かれて即座に「外断熱」と答えられた方は省エネに関心の高い方かもしれませんね。外の熱気や寒気を家の中で防ぐのではなく家の外で防ぐ。こうした外断熱の考え方が徐々に浸透してきています。

## 風の向きを知り、 風の通り道の確保をしよう！

「夏は南西の風が吹く」ご存じですか？  
したがって窓は南西と北東に開いているのが望ましいのです。みなさんお宅はいかがですか？窓があっても、風の通り道を邪魔しているものがあるといけませんね。

## 食べ物で、なぜ身体が冷えるの？

私たちは食べ物を食べて消化し栄養としています。この消化を行うには、体内の熱が使われます。先に挙げたこれらの野菜は多くの熱を必要とし、そのため身体から多くの熱が奪われ冷やされるのです。ちなみに麦茶など「カリウム」を多く含むものは強い利尿作用を持っているので、尿とともに熱を体の外に出してくれるので、身体を冷やしてくれる効果があります。



## ひとこと



今年も5月に「my ゴーヤ」として市民の方18名とサプリ村野の南窓面に緑のカーテンをつくるためにゴーヤを植えました。

ところが、週明けに事件が起きました。なんと、植えたはずのゴーヤが1本残らず消えていました！よくみると、抜かれた苗が周辺に散乱していました。なんてひどい！すぐに枚方市と警察に届けましたが、苗を持って行かれたわけではないので、被害届は受理できないとの事。そこで、警告看板を3枚掲示しました。

その後、植えなおしたゴーヤは、今すくすくと元気に育っています (^\_^)v

## ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第62号

令和元年7月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています